

タイ王国 長寿命化を可能にする炭素繊維シートによる インフラ補強事業の推進について

(JICA (国際協力機構) SDGs ビジネス支援事業 普及・実証・ビジネス化事業)

当社が ASEAN 地域で目指すリニューアル事業戦略の一環として推進していますタイ王国におけるインフラの補強事業について、既報の通り 2021 年に JICA が進める SDGs ビジネス支援事業の「普及・実証・ビジネス化事業」に採択されておりましたが、直近の進捗についてお知らせいたします。

JICA 支援事業 概要

途上国の課題解決に貢献し得る技術・製品・ノウハウ等を活用したビジネスアイデアや ODA 事業での活用可能性の検討、ビジネスモデルの策定。

SDGs ビジネス支援事業			
	基礎調査	案件化調査	普及・実証・ ビジネス化事業
概要	基礎情報の 収集・分析 (1年程度)	技術・製品ビジネス等の活 用可能性を検討し、ビジネ スモデルの事業を策定 (数ヶ月～1年程度)	技術・製品やビジネスモ デルの検証。普及活動を 通じ、事業計画を策定 (1～3年程度)



共同参画企業：東レ株式会社、東レインターナショナル株式会社

新規契約事項

受け入れ担当機関	タイ国運輸省道路局 (DOH)
対象インフラ	橋・高架橋補強
期間	2022年12月23日～2025年1月31日
工事概要	当社が有する施工経験と東レ(株)が提供する炭素繊維シートによって、当社の子会社を通じ、タイ国が直面するインフラの劣化問題を解決し、東レインターナショナル(株)の実績により、スムーズな輸出ルートを確認します。

見込まれる成果、貢献

- 炭素繊維シートによる補強工事サイクルの延命化によりライフサイクルコストの抑制。
- タイ国政府関係機関へのメンテナンスマニュアル (ブリッジ・メンテナンス・マネジメント・システム) の作成協力。
- 我が国の i-Construction 技術を駆使した点検、診断、計測技術の移転による効率的な事業の促進。

今後の展開

タイ王国では、周辺地域の発展に伴う急激な経済成長に伴い交通量の増加、通行車両の重量化による橋梁をはじめとしたインフラが急速に劣化し老朽化してきており、都市部におけるスクラップアンドビルドでの対応は、交通渋滞、大気汚染等の都市問題を引き起こし、社会的コストの増加が大きな課題となっています。

当社が長年培った炭素繊維シートによる補強技術により、早急なインフラの補修・補強を実現し、この長寿命化への課題解決にもつながります。また、この技術は都市交通や空港、道路等の構造物への応用も可能であり、今後のニーズの広がりにも応えていきたいと考えており、タイ王国のみならず同様の課題を抱える周辺各国へのビジネス拡大・成長を目指していきます。